

NEWS

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 第4回「安全大会」開催

2月2日（火）午後1時30分から名古屋国際会議場（名古屋市熱田区）において、（一社）愛知県産業廃棄物協会 第4回「安全大会」が、108名参加のもと開催されました。

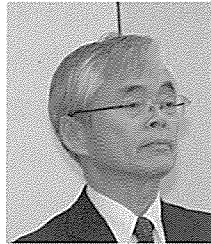
はじめに安全衛生委員 石川信夫氏より開会のことばがあり、会長 永井良一氏からは「国では平成25年度から5か年計画とする、第12次労働災害防止推進計画が策定され、労働災害の防止にむけて積極的な活動を展開しております。本日ご参加の皆様も安全大会を契機に、労働災害の撲滅に積極的に取り組んでいただくことを心より願っております。」と挨拶がありました。

次に安全衛生委員長 加山昌弘氏からは、一連のメディアで報道された廃棄食品の横流しについて、産廃業界が安全を考えていない業種として映ってしまったのではないかと、心痛の言葉がありました。実は安全対策には費用がかかり会社側に負担が及びます。しかし事件を起こしてしまうと築いてきた信用を失ってしまい回復が難しいので、このような事態を避けるべく、今後も一層安全への啓発活動の重要性について強く訴えました。



来賓挨拶をする
愛知労働局 岡田課長

来賓挨拶では愛知労働局労働基準部 安全課長 岡田真治氏より、愛知労働局管内死傷災害発生状況について説明があり、産廃業界の発生数は若干のプラス方向と横ばい状態で、減少されていないとのことでした。また報告書によく書かれている「本人の不注意」という文言について、人の動作の盲点をついた一連の動きを実践し、腕が動く方向と手の関節の動きが逆になるような作業をするときに災害事故が起こりやすく、事故の原因は本人の不注意ばかりではなく、いま一度機械設備の見直しを提案されました。



講演をする
中災防 山岡所長

続いて「人の失敗を科学する」と題して、中災防中国四国安全衛生サービスセンター 所長 山岡和寿氏の講演会が行われました。中でも三旗掲げかえ運動については、旗を壇上で掲げ説明があり好評を得ていました。



事例発表をする
(株)ダイセキ 山田氏

「安全衛生活動の取組み」事例発表では、株式会社ダイセキ 事業統括本部 環境安全部 山田拓也氏から、安全衛生管理計画、業務日誌、安全パトロール、ヒヤリハット改善事例他について発表がありました。



事例発表をする
(株)マルサワ 高橋課長

株式会社マルサワ 業務部 営業課 課長 高橋 剛氏からは、運搬車両への消火器設置、緊急時連絡ルート作成、化学物質に関する勉強会他について発表がありました。

安全宣言は全員が起立し、安全衛生副委員長 平沼辰雄氏が前半部分を読み上げ、後半部分を全員で斉唱し、閉会の言葉を石川委員が述べ安全大会は閉会しました。

